

VLBI 懇談会 2004年度総会 議事案

1. 活動報告

第1回 幹事会 2004/6/1 (議事録: 資料1)

第2回 幹事会 2004/9/29 (議事録: 資料2)

(主催)

VLBI 懇談会 シンポジウム 2004.12 相模原 主催

(共催)

相関器WS 共催 2004.8 鹿島

次世代天文学 - 大型観測装置とサイエンス -

シンポジウム 2004.12

e-VLBI 7-7:30-7°.

2. 決算

資料3 参照

3. 予算

資料4 参照

4. その他

VLBI懇談会役員会議事録

会議名：VLBI 懇談会 役員会

時間：2004年6月1日 14:00 - 17:00

場所：国立天文台 南研 2F 院生セミナー室 + 電話会議

参加者（敬称略）

小林、川口、井上、亀野、三好（国立天文台）、渋谷（極地研）、高嶋（国土地理院）

村田（JAXA）

電話会議：岐阜大 高羽（岐阜大）、藤下（九州東海大）  
鹿児島大 面高（鹿児島大）、梅本（国立天文台）  
国立天文台水沢 柴田（国立天文台）  
山口大 藤沢（山口大）  
北海道大 徂徠（北海道大学）

欠席：近藤、小山（情報通信研究機構）

資料1：情報通信研究機構報告（近藤：村田代読）

資料2：宇宙航空研究開発機構（JAXA/宇宙科学本部報告）（村田）

資料3：機関報告：北海道大学（徂徠）

資料4：国土地理院機関報告（高嶋）

資料5：機関報告 国立天文台 野辺山（梅本）

資料6：機関報告 国立天文台 VERA（柴田）

資料7：機関報告 九州東海大学（藤下）

資料8：国立天文台VLBI関連委員会の報告（小林）

資料9：次期VLBI相関器検討WSについて（小林）

資料10：Toward the Establishment of the Committee for the East Asia VLBI Community（井上）

資料11：サブミリ波VLBI梁山泊（第1回）（三好）

資料12：サブミリ波VLBI推進について（三好）

資料13：サブミリ波VLBIほらいずん望遠鏡計画（第1回）（三好）

資料14：岐阜大機関報告（高羽）

（議事）

1. 機関報告

北大、国土地理院、情報通信研究機構、極地研、宇宙研 /VSOP-2、  
天文台 /VERA、野辺山、  
岐阜大、山口大、九州東海大、鹿児島大。（各機関代表）

資料 1～7にしたがって報告。

情報通信研究機構については欠席のためいただいた資料を読み上げる。  
極地研、鹿児島大は口頭報告。

極地研（渋谷）、

大学共同利用機関法人：

情報・システム研究機構（ROIS） 国立極地研究所 となった。

VLBI実験

筑波一昭和 K5-K5 フリンジ試験を計画している。

45次隊（現在越冬中）では SYW（Showa, Hobert, HartRAO）実験を

4 回行い、OHIG 実験（上記3局にオヒギンス・チリ基地、コンセ  
プション、フォルタレサ、コキーパーク追加）を4 回行う。

鹿児島大（面高）

VERA計画への参加。

鹿児島大 鹿島と協力してソフトウェア関連器の開発。

## 2. 各種報告

天文台内 委員会（小林）資料8のとおり報告があった。

ミリ波・サブミリ波VLBI（三好）資料11-13のとおり報告があった。

東アジア VLBI コンソーシアム（井上）資料10のとおり報告。

## 3. 今年のV懇の活動方針について（村田）

VLBI懇談会シンポジウムの開催および集録の発行

会員の拡大+会費徴収。

メールリスト、HPによる広報。

HP 独自ドメインを取得したらどうか？

会員リスト：会員名簿 パスワード公開について

現在あるHPをどうするか。このままでよいか？

現在NiCTでHP、メールリストを運営している小山さんと相談。

各種会議の共催

（関連器WS、「次世代天文学—大型観測装置とサイエンス—」シンポ）

## 4. 関連器ワークショップについて（小林）

資料 9のとおり報告。8/9, 10 @ 鹿島で開催予定。

天文台 VLBI 小委員会、VLBI懇談会、NiCT共催。

## 5. 2004年 VLBI シンポジウムについて

開催場所の候補として、岐阜大（バックアップ 宇宙研）

現在、高羽さんを中心として開催可能性を検討中。

## 6. その他

VERA：測地 1mm 精度

地球VLBI

国内VLBI 水沢 地球物理 シンポジウム

RISE VERA/水沢 研究会のサポート・2-3割

概算要求 大学連携研究事業VLBI（北大、岐阜大、山口、鹿児島、天文台）

## 7. 次回日程

9月29日（水） 14:00 - @ 宇宙研 7F 会議室

（電話会議が必要な場合変更あり）

VLBI懇談会役員会議事録

会議名：VLBI 懇談会 役員会

時間：2004年9月29日（水）14:00 - 17:00

場所：JAXA宇宙科学研究本部 7F 会議室 + 電話会議

参加者（敬称略）

梅本、亀野、三好（国立天文台）、高嶋（国土地理院）、村田（JAXA）

電話会議：国立天文台水沢 柴田（国立天文台）

NICT 鹿島 小山（情報通信研究機構）、徂徠（北海道大学）

国立天文台 川口、小林、井上（国立天文台）

岐阜大 高羽（岐阜大）、

山口大 藤沢（山口大）

九州東海大 藤下（九州東海大）

鹿児島大 面高（鹿児島大）

欠席：近藤（情報通信研究機構）、渋谷（極地研）

資料1：国立天文台VERA報告（小林）

資料2：情報通信研究機構報告（小山）

資料3：極地研報告（email 渋谷：村田 代読）機関報告：北海道大学（徂徠）

資料4：宇宙航空研究開発機構（JAXA/宇宙科学本部）報告（村田）

資料5：次期VLBI関連器検討WS報告（小林）

資料6：SESTどうにかありませんか（三好）

資料7：Memo. of the extended PC meeting on 26 August,  
2004 at Qingdao（井上）

資料8：VLBI懇談会シンポジウムについて（村田）

1. 機関報告

天文台 VERA（小林）資料1

情報通信研究機構（小山）資料2

極地研報告（渋谷、代読 村田）資料3

JAXA/ISAS（村田）資料4

九州東海大（藤下）

台風直撃のためご自宅から参加。

VLBI関連 松本氏 VLBI ソースリストの研究（天文学会秋季年会で報告）

VLBI天文を行っている学部学生が岐阜大学修士課程に合格

山口大（藤沢）

IPVLBIを使用してメタノールメーザの単一鏡観測を行っていた。

10月中旬Xバンドにフィードを戻してVLBIに復帰する予定。

K5/VSIの導入を検討中。測地観測を11月に検討。

北海道大（徂徠）

受信機の結露の問題は解決した。

バックエンドのK5 Athronと相性が悪い2枚動かなくなっている。

FS9 を使ってVLBI観測を行う予定。

アンモニアの試験観測を実施。まだ強度の CALIB ができていない。

天文台 光結合（川口）

臼田 6.4 m、筑波 3.2 m、岐阜 1.1 m 3 局 3 基線で相関がとれる。

微弱天体の積分。強度変動。イメージング観測等を行っている。

測地観測もやっている。測地解もでている。

天文台 野辺山（梅本）

4.5 m 老朽化にともなう制御ボード更新、接続テスト、耐久テストを行っている。

これから立ち上げ観測。11月から共同利用

VERA+ 4.5 m の共同利用 100 時間。10/25 に二次共同利用しめきり。

鹿児島大 面高

VERA 立ち上げ作業を行っている。

6m サーボ系が落雷のために故障。改修中。

## 2. そのほかの報告等

次世代相関器 WS（小林）資料 5

SEST の支援について（三好）資料 6

コメント：とにかくいくらかかるのか、なにがあるのかわからないと議論できない。

東アジア VLBI コンソーシアムについて（井上）資料 7

Q: 権限はなにか？ A: steering というよりは advisory committee  
APT meeting（小山）

10/8 の予定であったが、人数があつまらないので 10/7 になった。

8 月中旬 VERA 観測システムを KVN に説明（川口）

## 3. VLBI 懇談会シンポジウムについて、

場所：前回の役員会で議論された岐阜大での開催はむずかしい情勢。

宇宙研で開催する。

テーマ：とくにこだわらない。

時期：12/22-24（23日は祭日であるが）がよい。

12月にはさまざまな研究会が目白押しであるが、12月開催にこだわるべきである。

（宇宙研側で可能かどうかを調整する。いまのところ可能）

世話人：村田 + 2-3 人（指名して報告）

## 4. 次回日程

12月22日（水）総会の前承認等。

次々回

4月27日（水） 14:00 - @ 国立天文台（電話会議あり）

# VLBI 懇談会 会計報告

報告期間 (2003年12月1日—2004年12月15日)

報告書作成 2004年12月21日  
VLBI 懇談会事務局長 村田 泰宏 印

(1) 収入 合計	<u>574,117円</u>		
・前年度繰越金	208,109円		
・利子	8円		
・会費収入	366,000円		
=内訳=			
正会員 (のべ180名×2,000)			
1999年度分 2名	2000年度分 2名	2001年度分 8名	
2002年度分 20名	2003年度分 83名	2004年度分 63名	
2005年度分 2名			
学生会員 (のべ6名×1,000円)			
2003年度分 2名	2004年度分 4名		
(2) 支出 合計	<u>295,685円</u>		
・02年度集録印刷費	170,000円		
・切手代 (02年度集録発送)	16,400円		
・03年度集録印刷費 (振込代含)	93,645円		
・切手代 (03年度集録発送)	15,640円		
(3) 残高 合計	<u>278,432円</u>		
=内訳=			
現金	74,158円		
郵便局総合口座	98,074円		
振替口座	106,200円		

- 会則上の年度会計期間は、1月1日-12月31日であるが、VLBI懇談会総会に報告するため、2004年12月15日で会計収入および支出を閉じた。

## 会計監査報告

VLBI 懇談会会計簿および支出に伴う領収書等を監査の結果、問題のないことを認めます。

2004年12月2日

VLBI 懇談会 会計監査委員

小林秀行 印

# V L B I 懇 談 会 予 算 案

報告期間 (2004年12月16日—2005年12月)

報告書作成 2004年12月21日

V L B I 懇 談 会 事 務 局 長 村 田 泰 宏

(1)	収入 合計	<u>574,117円</u>	590117円
	・前年度繰越金	278,432円	
	・利子	8円	
	・会費収入	<del>360000</del> <del>344,000円</del>	
	＝内訳＝		
	正会員 ((178名 - 2名) × 2,000)		
	学生会員 (8名 × 1,000円)		
(2)	支出 合計	<u>295,685円</u>	
	・04年度集録印刷費	200,000円	
	・切手代 (04年度集録発送)	17,000円	
	・切手代 (選挙関係)	17,000円	
	・役員会会役員旅費補助	110,000円	
	・次年度繰越 (予備費)	278,432円	